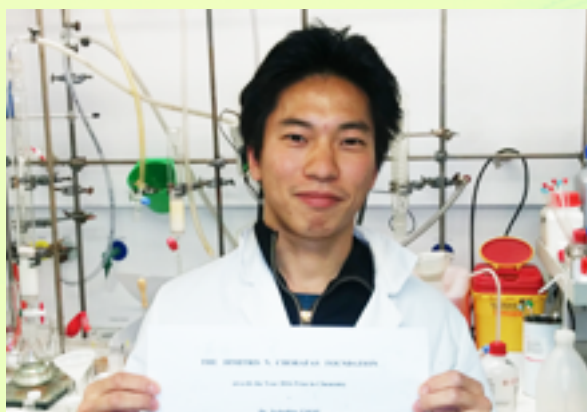
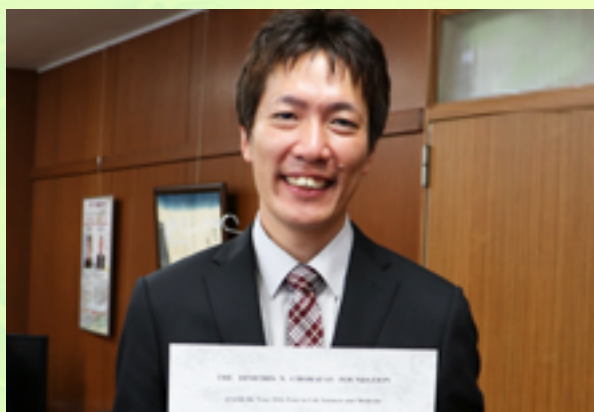


2016 年度コラファス賞 受賞おめでとうございます

■ 武山 和弘 さん・田胡 信広 さん ■

上記 2 名の方々が、2016 年度コラファス賞を受賞され、
9 月 7 日の授賞式で三原学院長から賞状を授与されました。

※田胡さんは現在ドイツ在住のため、指導教員の清尾先生が代理出席されました



武山和弘さん

田胡信広さん（ドイツにて）

■ 受賞論文タイトル ■

The role of osteoclasts and osteoblasts in the fracture healing

武山 和弘さん 生命情報専攻 工藤・川上研究室（博士後期課程 2016.3 修了）

Development of efficient synthesis methods of base protected uridine analogues
and artificial branch RNA for nucleic acid therapeutics

田胡 信広さん 分子生命科学専攻 清尾研究室（博士後期課程 2016.3 修了）

■ コラファス賞とは ■

1982 年スイスの科学者、Dimitris N. Chorafas 氏によって設立された賞で、バイオテクノロジーを含む化学の様々な分野の研究を対象とし、若い研究者への援助を目的としています。応募条件は当該年の 1 月から 12 月の間に博士の学位を取得ないしは取得予定であること、かつその年の 12 月 31 日の時点で 32 歳以下であることとなっています。我校は世界 15 カ国 26 の協力校のひとつになっており、学内で 1～2 名を選考して候補者として推薦し、ほぼ毎年受賞しています。

次回 Chorafas Prize 2017 への応募は、2017 年 2 月中頃に学院長から研究室教員向けに、メールで呼びかける予定です。2017 年が卒業年となる博士課程のみなさん、コラファス賞は、国際的な評価を得るチャンスです。学生時代の総括として自分の研究成果を世界にアピールしてみませんか。ご応募をお待ちしております。